

熊本大学海外派遣留学生 報告書

(協定校サマープログラム／語学セミナー)

氏名	D さん		
所属	文 学部・大学院 歴史 学科・専攻		
留学先機関名	安徽大学 (国名：中国)		
参加プログラム 区分	☒ 協定校サマープログラム ☐ 語学セミナー ☐ その他：		
留学期間	2019 年 7 月 2 日－ 2019 年 7 月 10 日	留学開始 時学年	4 年次
奨学金 (奨学金を受給 した場合)	☒ 奨学金受給無し ☐ JASSO 海外留学支援制度 ☐ 国際奨学事業 ☐ トビタテ！留学 JAPAN 【第 期】 ☐ その他 ()		



1. 出発前の準備について

ビザの申請	☐ 有 ☒ 無 種類()	ビザ申請先	☐ 国内 ☐ 現地 場所()
留学に向けて 取り組んだ語学	☐ 英語 ☐ 独語 ☐ 仏語 ☒ 中国語 ☐ 韓国語 ☐ その他 (語)		
勉強方法	スマホで中国語翻訳のアプリをダウンロードして使用した。		
必要経費 (留学に必要な 支払い費用) ※概算費用(おおよ その費用)	☐ プログラム費用 円 ☐ 宿泊費用(寮／ホームステイ等) 円 ☐ ビザ申請 円 ☒ 渡航費(☐ 片道 ☒ 往復) 44,500 円 ☒ 海外旅行保険料 約 10,000 円 ☐ 食費 円 ☐ その他 () 円		

2. 渡航～到着後の生活について

利用航空会社	中国東方航空	手配	日中交流センター ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	福岡→上海浦東→合肥	到着 時刻	18 時頃 【※移動時間(約 8 時間)】
大学(寮)への 移動手段	☒ 大学手配の出迎え ☐ 知人のお迎え ☐ タクシー ☐ 公共交通機関(☐ バス ☐ 電車) ☐ その他 ()		
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等	安徽大学の学生が空港までバスで送迎してくれた。		
宿泊先	☐ 寮 ☐ ホームステイ その他(大学内のホテル)	宿泊 手配	☒ 大学の斡旋 ☐ 自分で その他()
部屋の種類	☐ 一人部屋 ☒ 二人部屋 その他()	ルーム メイト	☒ 日本人学生 ☐ 他国からの学生 その他()
その他生活に必要な 手続き、アドバイス (口座開設、保険、 携帯電話、荷物、 支払い方法など)	機内の持込・預け荷物、重量制限については、航空会社ごとに規定・基準が異なるので事前に調べておいたほうがいい。私は上海浦東で百均のモバイルバッテリーを没収された。また、海外で使えるポケット Wi-Fi を借りた方がよい。私たちは今回ラッキー Wi-Fi (一台 8,800 円) を 2 台借りて 4 人で使用した。		

3. 留学先の大学について

プログラムの概要について（授業・フィールドワーク内容、スケジュール等）	7/2…安徽大学到着、ホテルにチェックイン 7/3…開会式、安徽大学歴史博物館見学、一帯一路に関する授業 7/4…安徽省や中国の伝統文化に関する授業、太極拳体験、運動会（みたいな活動）、夜にショッピングモール 7/5…中国語の授業、中国茶体験、名人館見学、巢湖・滨湖湿地公园見学 7/6…書道体験、安徽省博物院見学、ショッピング 7/7…宏村散策、パフォーマンス鑑賞 7/8…黄山に登る、屯溪老街で買い物 7/9…閉幕式 7/10…福岡へ出発、帰国
留学先大学でのサポート体制について（語学面／学校生活／住居・日常生活等）	語学面や学校生活、日常生活等に関しては安徽大学の日本語を勉強している学生チューターが全面的にサポートしてくれたので困る事はほぼなかった。
留学開始後に行った留学先大学の手続き（学生証、履修登録、大学 ID の設定等）	特にない。安徽大学の学生証を渡された。学生証には 120 元チャージされており、食堂で食事をする場合や学内のコンビニで商品を購入する際に使用した。
休日や余暇の過ごし方（観光、現地学生との交流等） ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に	7 月 4 日の夜にチューターと一緒にバスで近くのショッピングモールに行き夕食を食べた。ほぼ日程が詰まっていたので休日はなかったが、7 月 6 日の午後は予定を変更させてもらい、チューターに安徽省博物院に連れて行ってもらった。また、熊本大学に留学していた方と合流して一緒に夕食を食べた。その後、ショッピングモールに連れて行ってもらい、お菓子などのお土産を購入した。あまりゆっくり買い物する時間がなかったので、もしショッピングモールなどに行きたい場合はチューターに相談すると良い。

4. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

中国人のみならず、イギリスやフランス、ロシア、カンボジア、アゼルバイジャンなど多数の国からの参加者に会うことが出来た。しかし、私は日本人同士で固まってしまうことが多かったので、もっと積極的にコミュニケーションを取れば良かったと思った。日本語で挨拶をしてくれたり一緒に写真を撮ってくれたり、よく話しかけてくれるなど参加していた外国人はとても優しい人が多かった。拙い英語でもわりと伝わることもあるので、今後参加する方はぜひ積極的に色々な人と会話を楽しんでほしい。また、安徽大学の学生や先生をはじめ、中国人とも多く関わったが、皆とても優しく親切な人だった。特に学生は語学力が非常に高いところが印象的であった。日本ではあまり見ることもない光景を見たり、マナーなどを知る事ができて、「文化や価値観の違い」というものを感じることができた。

同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関することなど自由に記載してください）

航空券や海外保険、ポケット Wi-Fi などの手配は自分たちで事前に準備をしっかりとしなければいけないが、サマープログラムに関しては安徽大学や学生チューターがほぼサポートしてくれるのでとても過ごしやすかった。チューターに渡すお土産があると良い。服は 4 日分ほどあれば十分だった。私は固形石鹸を持っていき、ホテルで手洗いをして干していた。大学から 2 枚 T シャツを支給され、大抵それを来て過ごすので、T シャツは毎日洗った方がいいかもしれない。食事はほぼ中華料理だった。前半は大学内のホテルに泊まるが、黄山に行く際は黄山のホテルで 2 泊 3 日したので、大きめのカバンがあると便利。黄山は雨が降りやすいので、靴は 2 足準備しておくが良い。トイレは紙を流せない（ゴミ箱に捨てる）上にトイレトペーパーがないときもあるので、ティッシュは常備しておくのがおすすめである。服やお土産で荷物が多くなると思うので大きいキャリーケースがあると便利だが、重量オーバーになる可能性もあるので（私はなった）気を付けた方が良い。

留学を通しての感想

私はこれまで、大学の講義やゼミを通して中国史について学んできたが、実際に中国に行ったことがなかったので今回のサマープログラムは貴重な経験となった。安徽省博物院や宏村、黄山で中国の長い歴史を感じた一方で、アリペイや wechat などの QR 決済が浸透した先進的な側面を見ることが出来た。

このサマープログラムは語学面や生活面で困らない点と、個人的な旅行だけではなかなか足を運びにくいところまで行くことができる点が魅力的であった。特に黄山や宏村までバスで行く道のりは、道路がちゃんと舗装されているわけでもなかったのに、決して楽なものではなかった。しかし、黄山でみた水墨画のような雄大な風景や宏村の歴史ある街並みはこの先ずっと忘れられないと思うほど素晴らしかった。

中国に興味がある方はもちろん、海外の人と交流してみたいという方もぜひ、このサマープログラムに参加してほしい。

熊本大学海外派遣留学生 報告書

(協定校サマープログラム／語学セミナー)

氏名	A さん		
所属	_____ 文 _____ 学部・大学院 _____ 歴史 _____ 学科・専攻		
留学先機関名	安徽大学 (国名：中国)		
参加プログラム 区分	☒ 協定校サマープログラム ☐ 語学セミナー ☐ その他：		
留学期間	2019 年 7 月 2 日－ 2019 年 7 月 10 日	留学開始 時学年	_____ 4 _____ 年次
奨学金 (奨学金を受給 した場合)	☒ 奨学金受給無し ☐ JASSO 海外留学支援制度 ☐ 国際奨学事業 ☐ トビタテ！留学 JAPAN 【第 _____ 期】 ☐ その他 (_____)		

写真貼付

(枚数制限なし)

1. 出発前の準備について

ビザの申請	☐ 有 ☒ 無 種類（ ）	ビザ申請先	☐ 国内 ☐ 現地 場所（ ）
留学に向けて 取り組んだ語学	☒ 英語 ☐ 独語 ☐ 仏語 ☒ 中国語 ☐ 韓国語 ☐ その他（ 語）		
勉強方法	特になし。（挨拶や日常会話のフレーズを言えるようにするだけ。）		
必要経費 （留学に必要な 支払い費用） ※概算費用（おおよその費用）	☐ プログラム費用 0 円（免除） ☐ 宿泊費用（寮／ホームステイ等） 0 円 ☐ ビザ申請 0 円 ☒ 渡航費（☐片道 ☐往復） 45000 円 ☒ 海外旅行保険料 10000 円 ☐ 食費 0 円 ☒ その他（ お土産代 ） 20000 円		

2. 渡航～到着後の生活について

利用航空会社	中国東方航空	手配	日中交流センター ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	福岡→上海→合肥	到着 時刻	現地時間 17:00 【※移動時間（約 9 時間）】
大学（寮）への 移動手段	☒ 大学手配の出迎え ☐ 知人の出迎え ☐ タクシー ☐ 公共交通機関（ ☐ バス ☐ 電車） ☐ その他（ ）		
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等	迎えに来てくれるあちらの大学生を見つける。		
宿泊先	☐ 寮 ☐ ホームステイ その他（ ホテル ）	宿泊 手配	☒ 大学の斡旋 ☐ 自分で その他（ ）
部屋の種類	☐ 一人部屋 ☒ 二人部屋 その他（ ）	ルーム メイト	☒ 日本人学生 ☐ 他国からの学生 その他（ ）
その他生活に必要な 手続き、アドバイス （口座開設、保険、 携帯電話、荷物、 支払い方法など）	どうしても洗濯が必要になるので、コンパクトサイズの衣類用洗剤か洗濯石鹼を持っていき、こまめに洗濯することをお勧めします。日本では使えるサイトやアカウントが中国では使えないことがあるので、中国国外のサーバーを経由する Wi-Fi を持っていくと連絡などに重宝します。		

3. 留学先の大学について

プログラムの概要について（授業・フィールドワーク内容、スケジュール等）	書道や中国茶、太極拳などの文化体験や、簡単な中国語や安徽省の歴史に関する講義があります。また、プログラムに参加している各国の学生とのスポーツ大会もあります。大学外に出ることもあり、博物館見学や自然公園の散策、劇の鑑賞、観光名所の登山など様々なプログラムを用意して頂いています。後半は大学を離れて遠方の観光地に行くのですが、基本的には午前・午後で1つずつプログラムがあると考えていいです。
留学先大学でのサポート体制について（語学面／学校生活／住居・日常生活等）	日本語を流暢に話せるボランティアが案内や連絡をしてくれるため、中国語が上手く話せなくても大丈夫です。ただ、空港や観光地ではボランティアがいないのである程度英語や中国語が話せる方が便利です。食事とホテルの部屋も安徽大学側で用意して頂いたため、不自由はありませんでした。
留学開始後に行った留学先大学の手続き（学生証、履修登録、大学IDの設定等）	連絡用に WeChat アカウントが必要で、日本にいる間に設定したが運営側によって凍結されたため、中国人のボランティアにサポートしてもらって使用可能な状態にしてもらいました。
休日や余暇の過ごし方（観光、現地学生との交流等） ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に	現地のボランティアに案内してもらって学内の散策や買い物に行くことができました。また、プログラム終了後はボランティアや他の国の学生と食事に行くことができました。まとまった余暇はあまり多くないので、ボランティアと相談して時間をとることをお勧めします。

4. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

様々な国から学生が来ているために全体に向けてのアナウンスは基本的に英語で、聴いて理解する能力が試されるとともに、私自身は話す能力のなさを痛感しました。中国語も同様で、英語以上に習熟度が浅いために通訳を介さないと理解できませんでした。現地での買い物や注文はなんとかこなせましたが、現地の学生と中国語で会話ができたらもっと楽しく充実しただろうと少し残念に思っています。しかし、平易な表現やジェスチャーを駆使してでもコミュニケーションをとろうとするのは楽しいもので、国際交流の醍醐味ではないかと思います。また私は中国史を専攻しているので、時代が違うとはいえ中国の社会や人々の様子を少しでも垣間見ることができてよかったと感じています。日本とは違う社会を自分の目で見て肌で感じることで、日本人にとっての当たり前が別の社会では当たり前ではなく、国際交流においてはそれを念頭に置いた人間関係が求められるのだと強く実感しました。

同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関する事など自由に記載してください）

現地のボランティアの学生は安全面に配慮してプログラムをつつがなく進められるように気を遣ってくれています。プログラムの参加者が集合場所や時間を間違えたり決められた範囲以外で別行動をとったりすると、ボランティアの学生と安徽大学の先生方に大変な迷惑と心配をかけますので、指示や注意をよく聞いて従ってください。ボランティアの学生は私たちを歓迎してくれていますので、良好な人間関係のまま一週間を過ごせるように私たちも少し配慮する必要があるかと思います。期間中は短いながらも留学という扱いになりますので、観光や買い物、他の国の学生との交流を楽しむのはもちろんですが、羽目を外しすぎないように過ごすことも大切だと思います。

生活面に関しては、万が一のことを考えて酔い止めや胃薬、ティッシュペーパーなどを準備しておいた方がよいかと思います。ホテルは問題ありませんが、場所によってはお手洗いに紙がないこともあります。

留学を通しての感想

毎日の体験がとても新鮮で、充実した日々を過ごすことができました。私は今まで海外に行った経験がなく、手続き等で不安もありましたが安徽大学に用意して頂いた食事やホテルで快適な日々を送ることができました。これが中国において当たり前ではないのだらうと思いつつも、様々な出来事を通じて中国の社会や人々の様子を知ることができて、良い経験になったと思っています。もう少しディープな中国を体験してもよかったかなと思いますが、安全面を考慮して見送ったので、また是非挑戦したいところです。

食事がとてもおいしいのも魅力で、香辛料や薬味のきいたものが好きな方にはたまらないのではないかと思います。私自身は帰国してから日本の食事が少々物足りなく感じるくらいです。

他の国の学生と話す機会も多いですので、英語と中国語だけでなくスペイン語やフランス語など様々な言語で挨拶ができると会話のきっかけになります。中国語やスペイン語の授業で学んだことを実際に生かせるため、学んだ甲斐があったと感じています。

熊本大学海外派遣留学生 報告書
(協定校サマープログラム／語学セミナー)

氏名	B さん		
所属	文学部・歴史学科・アジア史学研究室		
留学先機関名	安徽大学 （国名：中華人民共和国）		
参加プログラム 区分	○協定校サマープログラム 語学セミナー その他：		
留学期間	2019 年 7 月 2 日～2019 年 7 月 10 日	留学開始 時学年	4 年次
奨学金 (奨学金を受給 した場合)	○奨学金受給無し JASSO 海外留学支援制度 トビタテ！留学 JAPAN 【第 期】 国際奨学事業 その他（ ）		



1. 出発前の準備について

ビザの申請	有 種類()	○無	ビザ申請先	国内 場所()	現地
留学に向けて 取り組んだ語学	○英語 独語 仏語 ○中国語 韓国語 その他 (語)				
勉強方法	主に中国語を勉強しました。中国語の映画・音楽などを教材として使いました。				
必要経費 (留学に必要な 支払い費用) ※概算費用(おおよ その費用)	プログラム費用 0 円 宿泊費用(寮／ホームステイ等) 0 円 ビザ申請 0 円 渡航費(片道往復) 44,000 円 海外旅行保険料 10,520 円 食費 0 円 その他(お土産代) 25,000 円				

2. 渡航～到着後の生活について

利用航空会社	中国東方航空	手配	日中交流センター
移動経路 ※往路のみ	福岡→上海浦東→合肥	到着 時刻	17:00 【※移動時間(約7時間)】
大学(寮)への 移動手段	○大学手配の出迎え 知人の出迎え タクシー 公共交通機関(バス 電車) その他()		
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等	特にありません。		
宿泊先	寮 ホームステイ ○その他(学内併設のホテル)	宿 泊 手 配	○大学の斡旋 自分で その他()
部屋の種類	一人部屋 ○二人部屋 その他()	ル ーム メ イト	○日本人学生 他国からの学生 その他()
その他生活に必要な 手続き、アドバイス (口座開設、保険、 携帯電話、荷物、 支払い方法など)	サマープログラム中は、We Chat で連絡が回ってきます。予めインストールしておいた方がよいでしょう。		

3. 留学先の大学について

プログラムの概要について（授業・フィールドワーク内容、スケジュール等）	1 日目：ホテル（合肥市内）到着 2 日目：オープニングセレモニー、一帯一路の説明、キャンパスツアー 3 日目：徽学・中国伝統文化に関する説明、太極拳体験、インドアアクティビティ 4 日目：初級中国語の講義、中国茶に関する説明、安徽省名人館、巢湖近くの公園訪問 5 日目：書道体験、安徽省博物館訪問 6 日目：黄州市への移動、宏村訪問、徽劇鑑賞 7 日目：黄山登山、老街訪問 8 日目：合肥市内への移動、クロージングセレモニー 9 日目：帰国
留学先大学でのサポート体制について（語学面／学校生活／住居・日常生活等）	日本人の参加者 11 名（熊本大学：8 名、高知工科大学：3 名）に対して、安徽大学の学生 3 名がチューターとしてサポートしてくれました。外国語学部日本語専攻の学生ということもあり、日本語のレベルは相当高かったです。
留学開始後に行った留学先大学の手続き（学生証、履修登録、大学 ID の設定等）	特にありません。到着後、ネームカードが配布された程度でした（大学内の食堂で食事をする際に必要）。
休日や余暇の過ごし方（観光、現地学生との交流等） ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に	自由に使える時間はあまり設けられていません。夜間に合肥市内を軽く散策する程度でした（中国人チューター同伴）。私の場合、クロージングセレモニーの後、合肥市内出発まで少し時間があつたので近くの書店を訪れました（2 時間程度）。 中国人チューターがプログラム全体を通してサポートしてくれるので、会話は自然と生まれるでしょう。

4. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

中国史を専攻とし、また卒業論文では徽州を取り上げることもあり、触れるもの全てが刺激的でした。特に老街の古書店で地図（日本では手に入らない詳細なもの）を購入することができたのは、卒業論文を執筆する上での大きな武器となりました。また、宏村の訪問は、戦後日本の中国史研究の主要な研究テーマであった村落の性格について、具体的イメージを抱く上での貴重な経験でした。

同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関することなど自由に記載してください）

予め、中国の歴史・文化・語学（自己紹介ができる程度）について基本的なものを学んでおくことは必須でしょう。そこを疎かにすれば、何も得られるものはありません。ただ、現地の人々と仲良くなった、楽しかった、それだけならわざわざサマープログラムを利用して中国まで行く必要はありません（旅行でいけばいいです）。それぞれ、中国に行く意味を考えておくことが非常に重要だと思います。

また、中国人チューターの指示には素直に従いましょう。そうしなければ、彼らや大学に迷惑をかけてしまいます。

留学を通しての感想

中国人チューターの、自らが専攻する語学を真摯に学ぼうとする姿に感動を覚えました。私自身、語学を専攻としている訳ではありませんが、中国史を専攻としている以上、語学をある程度まではマスターすることは必須だと自覚しつつも、怠惰な性分もあり、疎かししていた面がない訳ではなかったです。今回のサマープログラムは、その自分の力の足りなさを痛感しました。今後の勉強のモチベーションとしたいと思います。

熊本大学海外派遣留学生 報告書

(協定校サマープログラム／語学セミナー)

氏名	C さん		
所属	文 学部・大学院 歴史 学科・専攻		
留学先機関名	安徽大学 (国名：中華人民共和国)		
参加プログラム 区分	☒ 協定校サマープログラム ☐ 語学セミナー ☐ その他：		
留学期間	2019 年 7 月 2 日－ 2019 年 7 月 10 日	留学開始 時学年	4 年次
奨学金 (奨学金を受給 した場合)	☒ 奨学金受給無し ☐ JASSO 海外留学支援制度 ☐ 国際奨学事業 ☐ トビタテ！留学 JAPAN 【第 期】 ☐ その他 ()		



1. 出発前の準備について

ビザの申請	☐ 有 ☒ 無 種類()	ビザ申請先	☐ 国内 ☐ 現地 場所()
留学に向けて 取り組んだ語学	☐ 英語 ☐ 独語 ☐ 仏語 ☐ 中国語 ☐ 韓国語 ☐ その他 () 語)		
勉強方法	特になし		
必要経費 (留学に必要な 支払い費用) ※概算費用 (おおよ その費用)	☐ プログラム費用 約 40,000 円 ☐ 宿泊費用 (寮／ホームステイ等) 円 ☐ ビザ申請 円 ☐ 渡航費 (☐ 片道 ☒ 往復) 45,000 円 ☐ 海外旅行保険料 円 ☐ 食費 円 ☒ その他 () 20,000 円		

2. 渡航～到着後の生活について

利用航空会社	中國東方航空	手配	日中交流センター ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	飛行機	到着 時刻	17 時 【※移動時間 (約 8 時間)】
大学 (寮) への 移動手段	☒ 大学手配の出迎え ☐ 知人のお迎え ☐ タクシー ☐ 公共交通機関 (☐ バス ☐ 電車) ☐ その他 ()		
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等	特になし		
宿泊先	☐ 寮 ☐ ホームステイ ☐ その他 (ホテル)	宿泊 手配	☒ 大学の斡旋 ☐ 自分で ☐ その他 ()
部屋の種類	☐ 一人部屋 ☒ 二人部屋 ☐ その他 ()	ルーム メイト	☒ 日本人学生 ☐ 他国からの学生 ☐ その他 ()
その他生活に必要な 手続き、アドバイス (口座開設、保険、 携帯電話、荷物、 支払い方法など)	Wi-fi もしくは海外 SIM は必要。WeChat もインストールしておく 必要がある。毎日洗濯しなければならないがランドリーなどは無 いため手洗い用の洗剤を持参した。T シャツは支給されるため少 なめに持って行っても困らない。アクティビティに備えて、運動 用の服があると良い。車酔いする人は酔い止めを持って来た方が いい。		

3. 留学先の大学について

プログラムの概要について（授業・フィールドワーク内容、スケジュール等）	講義内容は安徽省のことや中国の歴史及び伝統的文化についてであった。中国語の講義もあったが、第二外国語で履修している人にとっては既習事項だった。アクティビティも用意されており、各国の参加者との交流を深められた。観光については、合肥市では博物館や自然公園を見学し、黄山市では黄山に登ったり、宏村・屯溪老街の見学と買い物が出来た。1日のスケジュールは朝から夕方まで組まれているので、基本的に自由に観光したりするような時間はない。閉会式の後に少しだけ自由に買い物ができる時間はあるが、それ以外は自由に外出することは出来ないので、規則に従えない人は参加しない方がいいと思った。
留学先大学でのサポート体制について（語学面／学校生活／住居・日常生活等）	今回は日本人の参加者が多かった為、日本語を話せる学生がチューターとして3人付いてくれた。基本的に日本語で連絡してくれるので言語的な面で困ることはない。アナウンスなどは英語でなされていた。前半は大学内のホテル、その後黄山市のホテルに2泊し、最後は街中のホテルに宿泊した。
留学開始後に行った留学先大学の手続き（学生証、履修登録、大学IDの設定等）	特になし。学生証は到着後に配布された。
休日や余暇の過ごし方（観光、現地学生との交流等） ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に	基本的に自由に外出することは出来ないが、1日だけ安徽大学の学生と一緒に夕方から外出した。またプログラム終了後にホテルに隣接するショッピングセンターで食事や買い物をした。

4. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

9日間と短い期間ではあったが、中国についてこれまで学んできたことを体感できたり見学できたことにより、中国を今までより鮮明に知ることができたと思う。安徽博物院では、古代からの歴史的な展示物や建築などを見学でき、感動した。

中国語は第二外国語で履修した程度でほとんど実践的能力はなかったものの、チューターの中国人にいくつか言葉を教えてもらうなどしたり買い物の時には実際に中国語で値段を訊いたり、答えを聞きとったりすることができ嬉しかった。数字はほとんど理解していたので便利だった。

他国からの参加者とは英語でコミュニケーションを取った。あまり話す機会は多くはなかったが、様々な国の人と関わることもできた貴重な時間だった。

同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関することなど自由に記載してください）

まず、自由な時間が欲しい人や規則に従える自信のない人は参加しないことを勧めたい。今回参加したメンバーの一部が、指示に従わなかったり時間に遅れるようなことが多々あり、チューターをしてきている学生に度々迷惑をかけ、悲しい思いをさせていた。朝の集合時間が早かったり、服装の自由や自由な時間は殆ど無いけれど、それを理解した上で規則を守って楽しめる人は参加すると良いと思う。

プログラムの内容や交流そのものは中国に興味を持っている人にとっては特に魅力的な内容である。

ホテルは大学内にあるが、そこから講義の行われる教室まで結構距離があるので日傘を持っていくと良い。あとお世話になるチューターの人たちとプログラム中仲良くなった各国の参加者のためにお土産を用意しておくべき。

留学を通しての感想

先輩方がこのプログラムに参加した話を聞いており、昨年からずっと楽しみにしていたので参加できて嬉しく思う。

安徽大学による手厚いサポートのお陰で、とても快適に過ごすことができ、困ったことはほとんど無かった。バスを用意していただいていたので、自力では行くのが難しそうな場所を観光することができた。特に、黄山は日本では絶対に見ることが出来ないような絶景でとても感動した。

中国語は第二外国語で履修した程度の知識で、しかも英語はあまり得意では無かった。授業は基本的に中国語を英語にもしくは英語を中国語に翻訳しながら進められるため、聞き逃したり理解できないこともあり大変だったが新鮮で楽しかった。